



薬師寺小だより

第10号

令和4年2月16日

下野市立薬師寺小学校

校長 海老原 忠

教育目標 『ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む』
・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

体調管理に御協力を

この冬は、今年の冬と比較して寒い日が多いと感じています。寒い中でも、子供たちは元気に登校し、晴れた日には校庭で元気に遊んでいます。しかし、鼻水や腹痛、頭痛など、体調不良を訴える子も多いように感じます。花粉症の症状が既に出ている子もいるようですが、家庭生活の中でも、しっかり食べてしっかり寝る。手洗いやうがい（学校では行いません）、清潔なハンカチ等で拭くなどの習慣を身につけさせるとともに、気候にあった服装をさせるなど、健康管理にご留意いただき、残された日々を元気に登校できるようご協力をお願いいたします。感染対策も、忘れずにお願いいたします。



年が明けてから特に時間の流れが速く感じるの私だけでしょうか。閉校までのカウントダウンは、2月16日現在37日となりました。コロナ禍ではありますが、最後の最後まで、子供たちと共に充実した日々を過ごし、子供たちが希望を持って新たな学校でのスタートを切れるよう、支援していきたいと思っております。

《給食週間 1月24日～28日》

この1週間を給食週間として、本校の栄養士が工夫を凝らして全国各地のおいしい料理を給食に出しました。また、児童が作成した給食かるたを掲示するなどして、給食への関心を高めました。



《3年生 ふくべ細工絵付け体験 2月25日》

「下野かんぴょう・ふくべ振興の会」の方々を講師にお招きし、ふくべの絵付け体験をさせていただきました。それぞれに思い思いの絵を描き、個性豊かな作品ができあがりました。



《2年生 いのちの授業 1月28日》

助産師さんや看護師さんで構成している団体「えがおのたまご」の皆さんを先生に、命の大切さ、自分自身の大切さを学ぶ出前授業を行いました。保護者の皆さんからのお子さんを大切に思うメッセージに、涙を流している子もいました。



《6年生 職業講話 1月28日》

総合的な学習の時間に、山岳ガイドの方、建築士の方、通訳の方、本校事務職員（警察の方が急遽来校できなくなったためピンチヒッター）を講師に、キャリア教育の一環として授業を実施しました。将来について考える良いきっかけになったことと思います。



おしらせ

【校舎 内覧会】

3月5日（土）

11：30～12：30

3月5日、いよいよ本校の閉校式が行われます。コロナ禍であるため、保護者の皆様や地域の皆様をご招待できず心苦しいところではありますが、閉校式終了後、校舎内覧会を実施いたします。

体育館では、子供たちが作成した学校の歴史を振り返るスライドショーや学校に残る古い写真、校旗などを見ることができます。教室の廊下には、子供たちの作品が掲示してあります。

思い出を掘り起こす一時になればと思っています。

※参加者が多い場合には、密を避けるため、お待ちいただくこともございますのでご了承ください。

校長室の窓から

3年生にふくべ細工の指導してくださった方が、こんなことをおっしゃっていました。

「子供たちの体験活動に長く携わっていますが、校舎や校章、行事の絵を描く子がこんなに多いのは初めてですよ。学校への思い入れがある子がたくさんいるんですねえ。」

何とも言えない喜びがこみ上げ、目頭が熱くなりました。

こんなこともありました。カウントダウンボードが50日になった日の朝、昇降口で1年生の女の子が、「あと50日だあ。三十何日しか学校に来られないんだよ。」と、私に話しかけてきたのです。返す言葉が見つからず、「そうだねえ。」としか言えませんでした。

薬師寺小は閉校になりますが、学校への想いと思い出は子供たちの心に刻まれていると感じることができた出来事でした。